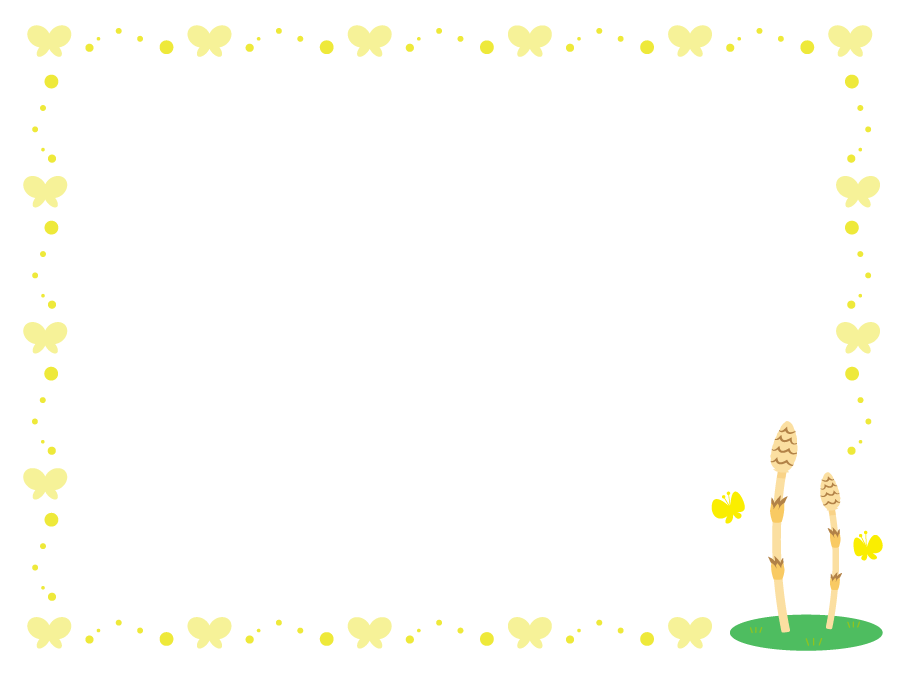
****

****令和4.4.15

**ごあいさつ**

４月に入り、暖かい日が多くなってきました。３月２７日は花見レクだったのですが、あいにくの天気だったため、出かけることができませんでした。４月２日（土）はお天気に恵まれ、今日外出しなければ桜が散ってしまうと、入居者様と散歩に出かけました。ご近所には桜がたくさん見られます。

　さて、面会については、玄関の特設においてご予約の上再開しました。ライン面会についても継続中です。面会はご家族に限らせていただきます。

　先日入所１１年在籍の方をお見送りしました。殆ど病気もせず、食べる事が大好きでした。亡くなる日にはアイスクリームをおいしいと言って召し上がりました。苦しむことなく眠るように亡くなったので、正に老衰でした。「楽な最後」とは枯れるように逝く事です。食べられなくなり、脱水状態となり、

徐々に眠くなる時間が増えて、生活動作が低下していきます。食べられなくなるのは、水分を体内で処理できなくなるからだそうです。このような

状態で強制的に水分や栄養を取り入れていくと、体がむくんだり、腹水がたまったり、痰がらみになって本人をかえって苦しめるそうです。身体で処理できなくなったら、できるだけ脱水状態にしてケアしていくことが、穏やかな最期を迎えられると、永井康徳医師が仰っています。

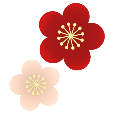
　また、石飛幸三医師は「医療がそれを邪魔しない」「平穏死」のすすめで同様な事を仰っています。私達は、平成２９年から３１人の方をお看取りしました。すべての方を「お看取り」できるわけではありません。病院で亡くなる方も相変わらず多いです。施設で行う医療にも限界があります。医師の判断で施設での看取りが妥当となった場合は、ご家族とよく相談しながら、苦しめない最後を迎えられるように、職員一丸となって努力します。何より、ご本人が積極的医療を望むか否か、事前に話合われることをお勧めします。

参照　永井康徳医師　最後は点滴をしない

　　　　　　　　　　自然の看取りの選択肢

　　　石飛幸三医師　平穏死のすすめ

　　　　　　　　　　　　　施設長　白石敏子

**行事報告**

****３月２７日　お花見レク

　　　　　　２９日　避難訓練

４月１０日　誕生会

****　　　　　　１３日　出前レク（１・2階）

****

**行事予定**

４月２４日 春の行楽弁当

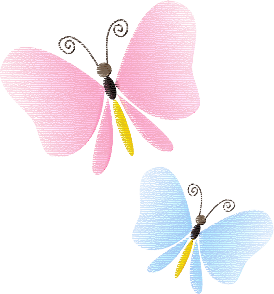
　　　　 習字硬筆レク

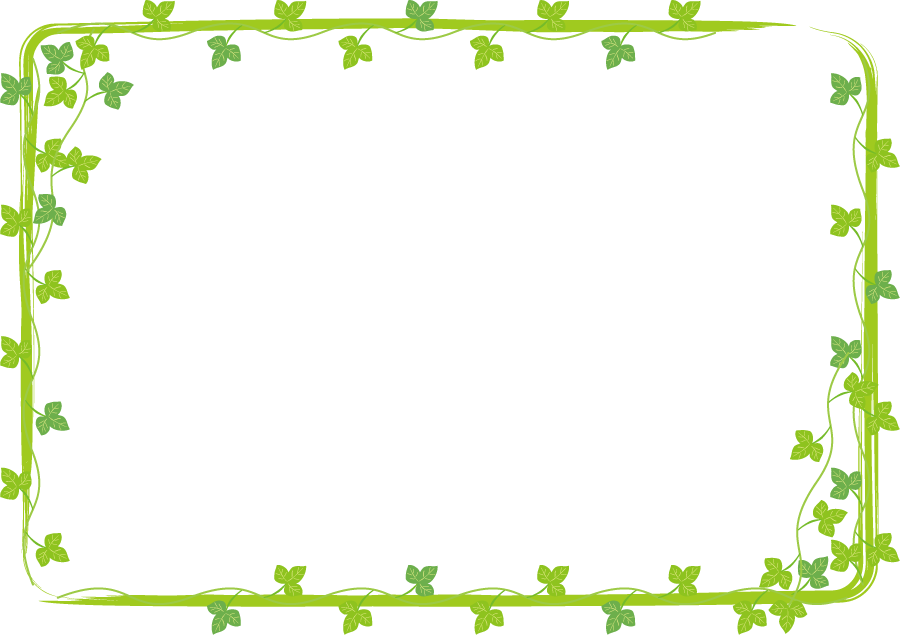
　　　　　　 周辺散歩

　　５月　１日　手作りおやつ

（さつき１・花１）

　　　２～４日　入浴レク

　　　　１１日　出前レク（３階）

****

お知らせ

　　　新聞の寄付ありがとうございました。



特別養護老人ホーム　チェリーヒルズ北本